



(1)小・中学校建設

①2010(平成22)年度 学校建設事業実績

今年度は9地域に21棟96教室の校舎、17棟64室のトイレ、16基の井戸(貯水タンク、溜池を含む)を建設しました。これにより、2011年3月末現在、カンボジア各地での校舎建設棟数は262棟(ラオス1棟を含む)になり、JHPの支援地域はカンボジアの24県中、17県に広がりました。(プノンペン市含む)

今年度は78校の建設要望が寄せられ、JHPは直接現地を訪問、調査し、

①教室が足りず2部制以上で授業を行っている学校

②老朽化により授業の実施が天候等で左右される学校

などいくつかのチェック項目を勘案したうえで、内部で十分協議し、優先順位の高い学校から建設を行いました。

支援学校名	生徒数	教員数	支援内容						備考
			校舎		トイレ		机、椅子	井戸	
棟	室	棟	室						
プロティエット中学校	423	16	1	5	1	5	125	1	老朽化校舎建替
コンボート小学校	331	9	1	5	1	3	125	1	老朽化校舎建替、新敷地に建設し、利便性改善
オンクナー小学校	413	5	1	5	1	3	125	1	
ブレイクラー小学校	604	14	1	5	1	3	125	-	老朽化校舎建替
ソンポー小学校	861	15	1	4	-	-	100	-	老朽化校舎建替、教室不足解消
チャートマイ小学校	338	8	1	5	1	4	125	1	
ワットクン中学校	531	38	1	5	1	4	125	-	教室不足解消
トピアセッカー小学校	305	5	1	3	-	-	75	-	老朽化校舎建替
ファンセンメッタピアップ小学校	1039	38	1	5	1	4	225	1	
ワットワールティエット小学校	269	11	1	5	1	3	125	1	老朽化校舎建替
ドーン中学校	412	18	1	5	1	5	125	1	教室不足解消
コースワイ小学校	240	5	1	5	1	4	125	1	
コンボンコー小学校	226	4	1	5	1	4	125	1	
ビートヌー小学校	1289	23	1	4	-	-	100	-	教室不足解消
チュレイリン小学校	504	11	1	4	1	4	100	2	
ブレイスラ小学校	207	7	1	5	1	3	125	1	不完全校から完全校へ移行
トームクリ小学校	669	10	1	3	-	-	75	-	
ジャヤバルマンVII中学校	3989	131	2	8	1	4	200	1	教室不足解消
トゥールロケアン小学校	292	195	1	5	1	4	125	1	
ボンリッチブラサット小学校	667	16	1	5	1	4	125	-	老朽化校舎建替
チンダイ中学校	475	16	-	-	1	3	-	1	トイレ不足、水不足解消
ブラサットスラケオ小学校	507	11	-	-	-	-	-	1	水不足解消
合計	14591	606	21	96	17	64	2500	16	

※井戸数にはチャートマイ小学校の貯水タンク、チュレイリン小学校の溜池、貯水タンク、ジャヤバルマンVII中学校貯水タンクを含む

②学校への贈呈品(支援学校数21校)

- 先生用:ノート、ボールペン、ブラウス、スカート(女性用)、シャープペンシル
- 生徒用:ノート、ボールペン、鉛筆
- 学校用:世界地図(各教室に1枚ずつ)、ボール(各教室に1個ずつ)、鉛筆削り(オフィスに)、時計(各教室に1つずつ)、ゴミ箱、衛生教本、富士山の写真、サッカーボール、空気入れ
- コミュニティー建設協力者:シャツ、スウェットシャツ、トレーナー(子ども用)、Yシャツ、歯ブラシ

(2)専門家派遣

国際ボランティア貯金の事業として、10月20日から28日まで、一級建築士の青野達司氏を派遣しました。今回は、申請事業の3県の小学校の他、過去の国際ボランティア貯金の建設校など合計9校を訪問。駐在員やローカルスタッフは、建設中や建設後の校舎状況に関するアドバイスを受けました。

(3)継続支援

①教材支援

学校予算は教育省からの配布が滞る事が多く、また学校の規模(生徒数)によって左右されるため、小規模な学校ほど苦労しています。例えば、教員用教材、教科書、文房具、図書室用書籍、井戸やトイレの増設、校舎補修など、学校によりニーズは異なりますが、今年度も多くの支援者がこれに応えてくださいました。

②建設後の交流

今年度もたくさんの支援者の方々がカンボジアを訪問されました。東芝グループ労働組合連合会のボランティア派遣は12年目となり、ブランコ建設に汗を流してくださいました。プンプリャオン小学校と富士ゼロックス端数倶楽部の交流会は3回目。運動会、絵画交流に加え、ブランコ建設も行われました。また、JAM静岡は6校目の校舎をご寄贈され、ブランコ建設後、折り紙やボール遊びで子供達は大喜びでした。他にも、毎年訪問される団体が多数あり、学校と地元民に大歓迎されています。

(4)付帯設備の設置

今年度は、シャープ株式会社よりご支援をいただき、ブレイベン県チアシム大学の学生寮へソーラーシステム一式を寄贈しました。JHPとしては過去最大のパネル8枚を屋根に設置し、夜間勉強する学生の蛍光灯の電気として日々活用されています。

(5)建設後の状況(モニタリング)

スワイチュルム小学校建設後の状況から

学校からの要望書が届き、2008年4月に調査を実施しました。1954年築の校舎が老朽化のため使用不可能の状態で、その為教室が不足していました。また、同年築のもう1棟の校舎も老朽化が進み、生徒の安全が心配されました。1棟4室の校舎を建設し、2008年11月に完成。翌年2月に贈呈式を行いました。



スワイチュルム小学校新校舎



ハン・チャオム 58歳 校長

旧校舎はぐずれそうで、子どもの安全が心配でした。新校舎ができた後は、地域住民に子ども達を学校に通わせるよう働きかけました。JHPの校舎は質は良いですが、窓に鉄格子があれば泥棒の被害を防ぐことができ良いと思います。当校では教員用の教材、生徒の教科書、遊具、図書室の書籍、本棚が不足して困っています。



パン・ヴァネット 15歳 小学6年生

古い校舎はぼろぼろで、崩れそうで怖かったです。机と椅子も使いづらかったです。ですが新校舎は、勉強するのに快適で、生徒にとって魅力的な学習環境です。国語と算数が好きです。将来は先生になりたいです。



スワイチュルム小学校旧校舎。壁に大きなひびが入っていた。

ソンボックオー小学校建設後の状況から

要請を受け、2007年9月18日に調査を実施。1993年築の木造校舎1棟5室と2005年築のコンクリート校舎1棟3室のうち、木造校舎の老朽化が進んでいるため建て直しを希望していました。JHPが調査した結果、校舎1棟5室とトイレ1棟4室を支援決定し、2008年9月に完成しました。



贈呈式で生徒代表スピーチをする女の子



サウ・チェン校長先生、58歳

JHPの支援を受ける以前は、教室不足のため木造校舎を使用していましたが、老朽化し屋根瓦が落ちる危険性があったため、机と椅子を屋外へ持ち出して授業を行うことがありました。しかし、雨などに影響されるため、十分な授業数を確保することが大変難しかったです。新校舎の完成後は、子どもたちは安全な教室の中で、丈夫な机・椅子で天候に左右されることなく勉強を行う事ができるようになりました。そして親御さんは子供たちを安心して学校に送ることができるようになりました。また、女子生徒は特にトイレの支援を大変喜んでいました。ありがとうございます。



ケン・ポレイ 12歳、4年生

僕が2年生の時まで、木造校舎は雨や強風の日は屋根瓦が落ちてくることがありました。トイレはありませんでした。新校舎ができて本当に嬉しいです。クメール文学が好きです。将来は、兵士になって国を守りたいです。

ソンポー小学校建設後の状況から

1979年築の木造1棟3室が老朽し、柱が虫食いでやせ細るなどしており、建て替えが必要でした。2010年7月に新校舎1棟4室が完成し、同年8月には2010年8月隊が2基のブランコを建てました。



2010年8月隊と完成したブランコ



ミア・ヴァティエー 39歳、5年生担任

以前は教室が足りなく、安全面にも問題があり、教材などを盗まれる心配がありました。今は教室は足りていますし、良い学習環境ができました。休みがちだった生徒達も学校に通うようになりました。



ワン・ソワンデー 13歳、6年生

雨の日は雨漏りで授業ができなかったことがありますが、今は新校舎のおかげで勉強がしやすく、また休憩時にはブランコで遊ぶことができ、学校に来ることが楽しくなりました。